

以上のように、社会参加を促す多面的な取組をした松戸プロジェクト第一期の3年間で、通いの場の数の増加、社会参加する高齢者割合の増加、社会参加する高齢者で要介護リスクの低下が認められました。

図2

元気応援くらぶ参加者は、
社会参加していない人よりも
要介護リスクの悪化確率が約60%低い



1期の成果を土台としつつも、感染リスクを避けながら交流ができる、新たな社会参加を促す地域づくりが求められています。今後も地域住民、企業・事業者、行政、大学など多様な関係者が力を合わせ、感染症の流行にも負けない、新たな「都市型介護予防モデル」の開発と効果検証、その普及を目指していきます。

リレーインタビュー

「主役は、元気応援くらぶ」

第一回 ボナわくわくクラブ

川野ひろしさん
ボナわくわくクラブ 相談役
まっごと活躍塾第二期生

人が集まれる場所、ということを意識しています

「ボナわくわくクラブ」への経緯についてお聞かせください。

川野 野良猫の支援をやっていますが、地域活動の幅をもう少し広げたくて市民活動サポートセンターの地域活躍塾（二期生）で学び、元気応援くらぶにつながったのです。

現在は休止状態ということですが。

川野 松戸駅近くのマンションのレンタルームで始めて3年目です。部屋が狭く、週1回で6人程度の参加ですね。年齢は70代の方が中心です。コロナの感染で参加者の制限を受けたら無理ですから、現在は休止です。

その代わりに、北松戸の公園でラジオ体操を中心に身体を動かす「場」を始めています。こちらは15〜16人くらいの参加があります。

元気応援くらぶは、居場所づくりの側面もありません。そのあたりはどう考えていますか。

川野 野良猫の支援をいろいろ行っていますが、考えてみたら「野良」猫とは、居場所がないから「野良」なのですね。人も同じですね。高齢者だけでなく、子どももそうです。そして子ども食堂も居場所なわけです。

地域社会の居場所づくりという課題……。

川野 確かに、地域社会の1つの課題としての居場所づくりがあると思います。今、地域社会で分野や世代を超えて居場所が求められていますね。そこで私も、今後の展開として学習支援も含めた中高生の居場所づくりを始めようと考えています。

松戸プロジェクトそのものが、高齢者の介護予防という視点で「元気応援くらぶ」を展開してきましたが、初期の段階から、支援が必要な人、という観点にたてば、高齢者の枠を越え、子ども、障がい者等も含めて考えるようになってきました。川野さんの活動もそのあたりは意識しているのですか。



ラジオ体操など野外で身体を動かす「場」を始めました。

川野 ボランティア活動は多岐にわたりますが、基本的には、社会的に支援が必要な方々が対象かなと思います。その観点から、分野や世代を超えての活動になると考えられます。特に意識はしていませんが、ボランティア活動とはそのようなものと理解しています。

川野さんは、分野や世代だけでなく、人も越えて……。

川野 わたしの場合、人も超えて、猫や犬にまで及んでしまったのです。（笑い）

（聞き手／情報発信・広報チーム 所 正明）

連載インタビュー

「巡るピト、つながるピト」

藤谷隆さん

松戸市教育委員会 生涯学習部 生涯学習推進課長

地域の学びの場として、地域交流やつながりを支えていきたいですね

藤谷さんが前任の子ども部るとき、地域のイベント等の現場でよくお会いしましたね。それで、藤谷さんは行政の根本に地域（現場）を据えている人なのかと……。

藤谷 最初の配属が企画課でなかなか地域に出ていく機会がありませんでしたが、次の異動で経済部に移り商店街の方を含め多くの市民のみみさんと話しを交わす機会を得ました。

そこで、行政の原点は地域の皆さんの声といえますか、地域が抱えている課題等を掴むことが大切だと……。

前任の子どもわかもの課長は、地域社会で子どもが抱えている課題等の政策や計画に対応する部署ですか？

3

松戸プロジェクト

第2期の展望

「コロナ禍という逆風の中で」

第1期の社会参加を促す地域づくりでは一定の成果が示されたましたが、新型コロナウイルス感染症の流行による活動自粛に伴い、高齢者の健康や生活機能の悪化が危惧されています。

2020年6月に実施した「元気応援くらぶ」の代表者を対象としたアンケート調査でも、緊急事態宣言中に7割以上の団体が活動休止に追い込まれ、緊急事態宣言の解除後も活動しているのは半分未満に留まっています。その打開策として、アンケート調査でタブレット・スマホを使ったオンラインでの「通いの場」に対するニーズが高かったことを受け、産官民学が協働して開発したオンライン活用ためのモデル事業とその介護予防効果の調査を11月から開始しています。第2期では第